

みんなもできる!

いろいろな寄付

みなさんは、「寄付」って知っていますか。

寄付とは、自分のお金や物を他の人や団体に贈ることです。

寄付をすることで、そのお金や物を必要としている人を、

助けたり応援することができます。

みなさんの身近にある物でも、

寄付をするとだれかの役に立つことがあります。



子ども すいた 社協だより

第34号

そうめんやパスタ、缶詰など
長持ちするものや開けてい
ないものを集めているよ。

身近なスーパーやコンビ
ニで受け付けているところ
もあるよ。



集まった食品は、子ども
食堂などに寄付されて、
活用されているよ。

おうちに、食べられるけど余っている食
品はないかな。食品を集めて、必要とする
人に届ける活動があるよ。

フードドライブ



集まった義援金は被災
地に届けられるよ

まちの中で義援金への
協力を呼びかけているよ



地震や台風などの災害で、おうちや学
校がこわれてしまうことがあるよね。そ
んな時に、被害にあった人たちを助ける
ためのお金を義援金と言うよ。

義援金(ぎえんきん)

社会福祉協議会はいろいろ
な人と「みんなで助け合える
まちづくり」地域の福祉活動
をすすめる団体です。

「社協だより」の「社協」
とは「社会福祉協議会」
のことです。



Instagram
@suitsyakyō
ホームページ

吹田市社協

検索



「子どもすいた社協だより」は赤い羽根共同募金を使って作っています。

交換してもらった車いすは、けがなどで車いすが必要な人に貸し出したり、学校での体験授業で活用しているよ。



約800kg(約ドラム缶9本分)集まると、車いすと交換してもらえよ

プルタブも寄付できる！
空き缶のつまみ部分(プルタブ)を集めると、車いすに交換してもらえよ。
吹田市社会福祉協議会で集めているよ。

みんなにできることは何か

寄付は、大きなお金やたくさんの物がなくても大丈夫！
一人ひとりの「やさしい気持ち」が集まれば、だれかを笑顔にできるよ。
自分が無理なくできることは何か、考えてやってみてね。



※プルタブを缶から外すときは、けがに気を付けてね

おうちの方へ

吹田市社会福祉協議会が実施している「善意銀行」では、本紙でご紹介したように地域住民の皆さんから寄付金や義援金、食料品等の物品をお預かりし、「善意の橋渡し」に取り組んでいます。寄付もとても大切なボランティア活動の一つ、ご家族と一緒に寄付について話し合うきっかけにいただけると嬉しいです。



ご意見を
お聞かせ
ください！

子ども社協だよりについてアンケートを実施しています。「こんな記事が読みたい」など皆さんの声をお聞かせください。ご協力いただいた方には吹田市社協イメージキャラクター「きらら」のグッズをプレゼント！ [アンケートはこちら](#)



子ども編集委員さん大募集！

子ども社協だより10月号(第35号)と一緒に作ってくれる「子ども編集委員」さんを募集します。(吹田市内の小学校4年生から6年生、各学年2名ずつ計6名募集)

応募期間 令和7年 5月7日(水) から 6月6日(金)

応募方法 ハガキか右の二次元コードから「名前・住所・電話番号・メールアドレス・通っている小学校と学年・応募した理由」を書いて送ってください。



応募先 〒564-0072 大阪府吹田市出口町19-2
吹田市社会福祉協議会 子ども編集委員募集
メール: suisyaky@tua.biglobe.ne.jp

- 7月に1回目、8月に2回目の編集会議をします。
- 応募がたくさんの場合は抽選します。
- 結果はお手紙とメールでお知らせします。
- 編集委員さんにはお礼として図書カード500円分をプレゼントします。
- 応募者の情報は今回の目的以外には使用しません。